

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

今年の夏はゲンナリするような蒸し暑さが昼も夜もつづきましたが、お盆をすぎてようやく過ごしやすくなってきました。夜になると肌寒いくらいです。みなさまは、お元気でいらっしゃいますか。

今年は10数年ぶりに花火を見に行きました。それも、カヤックに乗って洋上からみる花火です。

夜の海は魔物が住んでいる。怖くて恐ろしい。と、潜在意識にすりこまれている私としては、たのしみ半分・怖さ半分でのスタートでした。

まずは、夕暮れの海に漕ぎ出し、夕日見物です。

20人ほどの参加者の人が10数台のカヤックに乗りこみ、海へ滑り出しました。こんなに大勢で海に出るのは初めてのことです。すぐに他の船にぶつかってしまって「すみません！ごめんなさい！」を連呼しながらの出発になりました。

わたしは、6月の試乗会で体験したフォールディングという折り畳みカヤックを使わせてもらったのですが、船の重量が軽いせいも、方向が安定せず、潮にも流されやすいようで、まっすぐ進むのに必死でした。

上下にうねる波にゆられて船酔いしながら手を動かし、岬を越えると大きな夕日が目の前にあらわれました。パドルをスマホに持ち替えて、写真撮影会です。みるみるうちに沈んでいった太陽を惜しみつつ、近くの浜に一旦上陸して一休みしました。

すっかり暗くなって、再度出発。ここからは夜光虫が主役です。海中に手を入れて動かすと、青い光の点が手からみついてきて、みんな大はしゃぎでした。パドルにまわりつく水を薄青く光らせながら花火のビューポイントへ移動しました。

「今日は満月だからそこまで暗くない。真っ暗な方が夜光虫も花火もきれい…」と聞いていましたが、わたしとしては充分真っ暗な海の上でゆらゆらと揺れながら見る花火は不思議な光景でした。最初は「うわー！きれい！！」と口々に歓声があがりましたが、皆だんだんと無言になって、夜空に広がる色とりどりの火花の競演に釘付けになっていました。もうため息しかでてきません。

花火が開き始め、すこし遅れて「ドーン」という音が聞こえてくるのも、理屈からいうと当たり前だとわかっているのに、何か異空間に紛れ込んだような気分になりました。

その音が、山々にこだましながら幾重にも響き、自分の体のなかにまで振動が伝わってくるのもとても心地よく、静寂の夜に自分だけが花火を独占しているかのような、とっても贅沢な時間でした。

不気味な夜の海で不安定なカヤックに乗るのは、予想以上にドキドキで怖かったですが、次回もぜひ参加したいです。

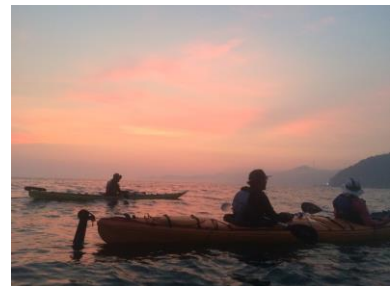
まだまだ残暑が厳しい日が続くかもしれませんが、みなさまどうぞお身体を大事になさってください。



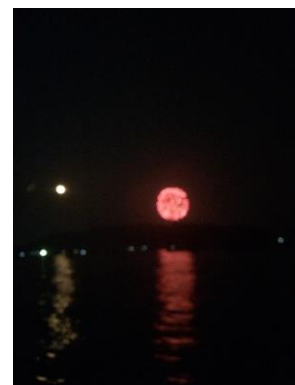
夕暮れの砂浜を出発！



結構波がありました



赤く染まった空



左の白い点は満月
肉眼だともっと大きくみえました

株式会社ユニコーン

大阪市中央区大手通 1-1-2

TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311